

令和2年度 事業計画

1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催

1) 関連研究プロジェクト

(八木会長)

○研究タイトル『世代を超えて育まれるダンス・スポーツへの態度』

○申請者：(公社)日本女子体育連盟理事会

○研究背景：体育・スポーツ、ダンスとの出会いや、その継続に、学校教育が重要な役割を果たしていることは当然であるが、生涯にわたって「する・みる・ささえる」多様な関わりを促進するにあたって、家族、とくに両親からの影響もあるはずだ。こうした影響関係、とくに母親が果たす役割を知ることが、内容ごとに情報発信のターゲットを特定した生涯スポーツ振興戦略を考える上でも重要である。世代を超えて継承されてゆくスポーツ・ダンスへの態度とその影響要因について探求する。

○研究計画：

【1年目】質問紙調査ならびに聞き取り調査

- ① 先行研究の渉猟と質問項目の検討。
- ② 質問紙調査：各学校種、生涯スポーツの現場（つまり我々の職場やフィールド）で実施。
- ③ 聞き取り調査：サマーセミナー会場等で参加者への聞き取り調査。アスリート、ダンサー、指導者（我々自身も含め）への聞き取り調査。

【2年目】① 情報の整理と分析。② IAPESGW 東京大会において成果発表。③『学術研究』に投稿（「報告」程度）。

2) 加盟団体との共同研究

(八木会長)

本部と加盟団体との共同研究を実施する。

(継続) なし

(新規) メール申請受付、締切は4月30日必着。

3) 国際女子体育連盟および加盟団体との共同研究

国際会議準備委員会

本部と国際女子体育連盟および加盟団体との共同研究を実施する。

○研究タイトル『“Beyond the Boundaries: Creative Dialogue Through Dance and Sport” (境界を超えよう：ダンス・スポーツによる創造的な対話)』

○研究計画：

【1年目】日本の、学校ダンスの学習指導状況、生涯スポーツ・ダンスの取り組み状況を整理する。

【2年目】2021年8月16日(月)～20日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて第19回国際女子体育会議世界大会(19th IAPESGW World Congress in Tokyo)を開催して、シンポジウム・論文発表・実技指導等により成果を発表する。

2. 女子体育に関する講習会及び育成事業

1) サマーセミナー

□生涯スポーツ研究/授業・保育研究専門委員会
『(公財)スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業』

3) JAPEW ダンスムーブメントセミナー

□佐藤常務理事、古関理事

広域連携推進事業／ダンスムーブメントセミナー2020 in 岡山

主 催 (公社)日本女子体育連盟 岡山県女子体育連盟
 期 日 2021年2月20日(土) 21日(日)
 会 場 就実大学体育館

4) 「JAPEW ダンスムーブメント指導員(略称 JAPEW-DMIL)」養成事業・資格認定事業

□指導員制度専門委員会

①「JAPEWダンスムーブメント指導員」養成講習会

< A級:第16回, B級:第21回, C級:第24回 >

期 日 2020年11月14日(土)・15日(日)・16日(月)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
 内 容 理論、実技 計21時間

※14日・15日はサマーセミナー生涯スポーツコース受講に代える

受講料(税込) 16,500円

②「JAPEWダンスムーブメント指導員」検定講習会

期 日 2021年1月9日(土)・10日(日)・11日(月・祝)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
 内 容 理論、実技、指導実習 計19時間 ※検定試験

受講料(税込) A級/27,500円、B級/27,500円、C級/16,500円

受験料(税込) 11,000円

③「JAPEWダンスムーブメント指導員」クリニック

期 日 2020年11月16日(月)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
 内 容 スキルアップのための実技研修

受講料(税込) 5,500円

④公認ライセンス資格認定(S級、A級、B級、C級)

資格取得に係る諸費用

費 目	C 級	B 級	A 級	S 級	備 考
受講料(養成講習会)	15,000	(同左)	(同左)		(税抜)
(検定講習会)	15,000	25,000	25,000		(税抜)
受験料	10,000	(同左)	(同左)		(税抜)
指導員公認料	10,000	20,000	30,000	無	(税抜)
連盟登録料	12,000	(同左)	(同左)	(同左)	2ヶ年分(税込) ※他に『女子体育』購読料 ¥10,000 2ヶ年分(税込)
更新登録料	12,000	(同左)	(同左)	(同左)	2ヶ年分(税込) ※他に『女子体育』購読料 ¥10,000 2ヶ年分(税込)

3. 機関誌その他の学術刊行物の発行

1) 『女子体育』編集発行

□『女子体育』編集専門委員会

①刊行 隔月刊・年間6回とし、発刊は発刊月前月の25日発刊予定とする。

構成：通常号4本、特集号2本（オリンピック・パラリンピック開催年にふさわしい内容の特集号、AJDF報告特集号）

②方針 2020年度も引き続き、通常号80頁、増刊号120頁、横書き、写真の掲載等、同様の方針で取り組む。

③購読料 年間購読料5,800円、新卒4,000円、学生3,800円（いずれも価格は据え置き）
通常号909円（税抜き） 特集号1,182円（税抜き）

④年間テーマ 「ダイバーシティ（多様性）とダンス」

2020年度は、2019年度に引き続き、ダイバーシティ（多様性）をキーワードに、発行していく。年齢や性別はもちろん学歴・職歴、国籍・人種・民族、性的指向・性自認、ライフスタイル、価値観の違いなどから人を制限せず、それぞれの個性を生かし最大限の能力を発揮させようというダイバーシティの考え方にに基づき、昨年度よりもさらに考えを深めていきたい。

⑤月テーマ

○4・5月号 「共に」を大切にする

○6・7月号 ダンスとの多様な関わりを探る

○8・9月号 特集「第一部オリンピック・パラリンピック開催年にふさわしい内容（未定）
第二部 JAPEW ダンスフォーラム2020の報告号」

○10・11月号 第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）特集号

○12・1月号 ありのままを受け容れる

○2・3月号 自分の変容を確かめる

2) 『学術研究』発行

□学術研究編集委員会

『日本女子体育連盟 学術研究』第37巻を刊行する。なお、論文投稿締め切りは8月末日とする。

4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進

1) 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 33rd All Japan Dance Festival-Kobe

□AJDF-KOBE専門委員会（寺山常務理事・羽岡理事）

期 日 2020年8月7日(金)・8日(土)・9日(日)・10日(月)

会 場 神戸市／神戸文化ホール・神戸市立中央体育館

主 催 (公社)日本女子体育連盟、神戸市、神戸市教育委員会

主 管 第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)実行委員会

後 援(予定) スポーツ庁、NHK（日本放送協会）、（公財）日本スポーツ協会、
（公財）全国高等学校体育連盟、全国高等学校長協会、兵庫県、兵庫県教育委員会、

	(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)ミズノスポーツ振興財団
協 賛	(株)日本旅行神戸支店、ミズノ株式会社
内 容	①開会式 *大会2日目に行う ②創作コンクール部門 (高校/予選・決選、大学/予選・決選) *決選 (入場料¥1,000) ③参加発表部門 ④表彰式・特別プログラム(創作コンクール部門高校・大学受賞作品) *特別プログラムは大ホールにて2回公演 (入場料¥4,000)
表 彰	文部科学大臣賞、NHK賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞(以上、高大各1)、特別賞(高大各4)、奨励賞(高大各1)、審査員賞(高3(予定)、大1)、準入賞(高4)
その他	参加申込要項等は大会HPに掲載 大会詳細は『女子体育』10・11月号報告特集号に報告

2) 国際的な研究交流事業

□国際交流専門委員会

① 国外の体育・スポーツ・ダンス推進団体との連携、情報交流

○ 国際女子体育連盟 (IAPESGW) との連携

- 2021年に開催される第19回国際女子体育連盟 (IAPESGW) 東京国際会議に向けた打ち合わせ。
- 国内におけるスポーツ・ダンス推進団体の日本代表である(公社)日本女子体育連盟会長・八木ありさ氏、NPO法人JWS(Japanese Association for Women in Sport)代表・小笠原悦子氏、WSFジャパン(女性スポーツ財団)日本支部事務局との連絡調整。
- 日本のIAPESGW会員の把握。
- JAPEW HP「国際情報」より、国際女子体育連盟 (IAPESGW) ニュースレターを始め、CID (International Dance Council 国際ダンス協議会)、IWG (International Working Group on Women and Sports 女性とスポーツの国際ワーキンググループ) を中心とした海外における国際的な女性と体育・スポーツ・ダンス関連の情報配信。

② 国際交流企画 IAPESGW 国際会議に向けた研修会の開催

- 2021年IAPESGW国際会議の参加促進のため、JAPEW会員の関心を高め、国内の研究者、大学院生の研究発表・参加につなげることを目的とする。

第1回研修会

期 日 2020年8月下旬(検討中)

会 場 お茶の水女子大学、あるいは関西(検討中)

主 催 (公社)日本女子体育連盟

内 容 2021年IAPESGW国際会議に向け、国際女子体育連盟と国際会議について、並びに過去の発表内容等の情報を提示する。また、口頭発表やポスター発表等のテーマや内容について共有しながら検討する機会とする。

第2回研修会

期 日 2020年12月下旬(検討中)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター、あるいは関西(検討中)

主 催 (公社)日本女子体育連盟

内 容 2021年IAPESGW国際会議での研究発表に向け、英語でのプレゼンテーションや質疑応答についての講義、発表申込から手続きまでの手順、英文要旨についての進捗プレゼンテーションでの意見交換や助言指導を行い、研究発表を促進し、発表予定者が内容を洗練させる機会とする。

③ (公社)日本女子体育連盟の活動情報の国外への発信

○ ホームページのイングリッシュガイドの情報を更新。

○ IAPESGWから配信される情報の国内配信、連盟の活動をIAPESGW News Letterへ投稿。

④ 日本国内にある異文化グループや国際交流グループとの連携事業についての検討

○ 学校や地域において、体育・スポーツ・ダンスを通じた異文化交流が推進できる方法を提案できるよう、情報収集をする。

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1) 「JAPEW賞」顕彰

□JAPEW賞選考委員会(会長)

①JAPEW松本千代栄賞

趣旨 長年にわたり我が国における体育・スポーツの普及振興と本連盟の発展に貢献し、生涯にわたる女子体育に関する研究と実践に顕著な功績が認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、その功績を称え表彰する。本賞は(公社)日本女子体育連盟(以下、本連盟)を長きにわたり牽引された松本千代栄氏の特段な功績を称え、創立60周年を期に制定した。

選考 本連盟会長及び顧問により推薦された候補者について、JAPEW松本千代栄賞選考委員会において審議し選考する。

②JAPEW功労賞

趣旨 我が国の体育・スポーツの普及・振興にあたり、特に貢献が顕著と認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、表彰をもってその功労に報いることを目的とする。

選考 本連盟会長及び加盟団体より推薦された候補者についてJAPEW功労賞選考委員会において審議し選考する。

③JAPEW指導者賞

趣旨 体育・スポーツの指導を通して功績をあげ、学校体育及び生涯スポーツの振興・普及に貢献した我が国の女性体育指導者を表彰するとともに、優秀な女性体育指導者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟会長および加盟団体より推薦された候補者に対して、JAPEW指導者賞選考委員会において審議し選考する。

④JAPEW研究奨励賞

趣旨 体育・スポーツに関する研究において優れた成果をあげた論文及び著書とその女性研究者(個人またはグループ)を表彰するとともに、優秀な女性研究者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟理事より推薦された候補論文及び著書とその女性研究者について、JAPEW研究奨励賞選考委員会において審議し選考する。

※推薦書の提出 JAPEW各賞候補者の推薦書については、所定の書式に基づき、連盟事務局までメールで送付及び郵送のこと。

2) 表彰および表彰者の公表について

表彰者氏名は、機関誌『女子体育』誌上及びホームページにて公表する。表彰者には、11月のサマーセミナー開講式において、表彰状と副賞を授与し、顕彰する。

6. その他

広報・普及活動

□広報・普及委員会

①各加盟団体とのIT化の推進

事務手続き効率化のため、各加盟団体間でIT化を一層推進する。

②『女子体育』購読促進活動・会員増員のための活動

研修事業での新規（新卒学生含む）及び継続会員獲得、並びに購読期限切れ会員への対応を行う。（事務局・総務・編集委員会との連携）

③新ホームページの開設と内容充実及び開示情報の更新

- ・各事業と関連し、情報発信の敏速性とHPの充実をはかる。
- ・サマーセミナーおよび未来世代の研究発表会のエントリーをHP上で行う。
- ・事業報告、事業計画、財務諸表（決算書・予算書等）の情報を公開する。
- ・各県情報のHP化／各県教委等、他団体との相互リンクを充実させる。

④『日本女子体育連盟 学術研究』の電子化

『日本女子体育連盟 学術研究』第37巻を電子ジャーナルとしてJ-STAGEに公開する。

⑤『JAPEWニューズレター』の発行

『JAPEWニューズレター』を発行する。